

第 92 春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成 8 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的に、Academic Program のうち、高分子、材料化学、材料の機能、材料の応用、資源利用化学の 5 部門、及び Advanced Technology Program (A T P)部門の一般講演に限定し、「講演奨励賞」を贈り顕彰しておりました。平成 20 年度からは名称を「優秀講演賞（産業）」と改称し、表彰しております。

この「優秀講演賞（産業）」は、「①産業に対して、現在、または将来に亘り大いに寄与すると期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについて優れた講演でかつ講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるもの、②探索研究から製品開発の過程で、化学に基づく技術がかかわり、それがブレークスルーや特徴ある製品性能を生み出すなど、製品開発に大いなる寄与をもたらした、優れた技術内容を含むもの」に対して公益社団法人 日本化学会 会長名で表彰するものです。

平成 23 年度の第 92 春季年会は平成 24 年 3 月 25 日(日)~28 日(水)までの 4 日間、慶應義塾大学日吉キャンパスおよび矢上キャンパスで開催され、審査希望のあった若手研究者(40 歳以下の会員)の講演を対象に産業界の審査員が審査致しました。産学交流委員会による選考委員会でも慎重に選考の結果、今年度の受賞者として、申請のあった 177 件の中から下記の 10 名が選出されました。選考委員会で高い評価を得て表彰に値すると認定されたこれらの受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研究を積み重ねることを期待致しまして、受賞者の所属機関長を経由して表彰状をお届けいたしました。

優秀講演賞（産業） 受賞者

[高分子化学]

- ・ 西山寛樹 氏(東京工業大学大学院総合理工学研究所物質電子化学専攻)
1J2-34 「主鎖にチタナシクロペンタジエン骨格を有する有機金属ポリマーの高分子反応によるテルロフェン骨格を有するn共役ポリマーの新規合成法の開拓」
- ・ 中島 祐 氏(北海道大学大学院先端生命科学研究所)
3J1-40 「分子ステント法を用いた、あらゆる化学種からの超高強度ダブルネットワークゲルの創製」
- ・ 藏本泰式 氏(東京工業大学資源化学研究所)
3J1-53 「 dendリマーキャビティを利用したフラレン分子認識」

[材料化学]

- ・ 石渡拓己 氏(北海道大学総合化学院)
3F4-48 「Metal-Organic Framework の内部架橋によるネットワークポリマーの合成と特性」
- ・ 高橋祐彦 氏(キヤノン(株)技術フロンティア研究センター)
4F4-37 「超低速ディップコート法によるシリカメソ構造体膜の作製」

[材料の機能]

- ・ 大橋雅卓 氏((株)豊田中央研究所 先端研究センター)
1F8-08 「メチルアクリドン架橋型メソポーラス有機シリカによる水素生成光触媒反応」
- ・ 岡本行広 氏(名古屋大学大学院工学研究科)
4F8-15 「ミドリムシによる細胞分離法の創成」

[材料の応用]

- ・ 中川哲也 氏(九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター)
1G3-26 「スピロビフルオレン誘導体の熱活性化遅延蛍光特性と OLED への応用」
- ・ 重広龍矢 氏(大阪府立大学大学院工学研究科)
1G3-31 「ジピリドフェナジン骨格を有する新規強発光性n共役化合物の合成と特性」

[資源利用化学]

- ・ 附木貴行 氏(九州工業大学エコタウン実証研究センター)
4D1-08 「ポリ乳酸の再資源化技術について」